医療 DX

デジタル技術を活用して医療の質を高め、効率化や安全性を向上させる取り組みのことで、日本の医療制度は高水準ですが、アナログな部分も多く、デジタル技術を活用して改善しようという流れで、災害時に医療の止まらない仕組みを作る鍵になります。

(1) 電子カルテの標準化・共有化

医療機関ごとにバラバラだった電子カルテの情報を全国で共通利用できるようにする、これで（他の病院にかかっても、過去の情報、病名・検査データ・画像などが見られるようになります）

(2) オンライン診療の拡大

自宅にいながら診療や処方を受けられる仕組みを整備
（遠隔地や高齢者の通院負担が軽減されます）

(3) 医療データの活用

健診データ・診療報酬明細・治療成績などを匿名化して
研究や政策に活用（医療の質改善、医薬品開発などに役立ちます）

(4) 電子処方箋の普及

紙の処方箋を、電子データで発行・管理する仕組みで、
医師が発行した処方情報が、クラウドを通じて薬局で共有されます。（紙の処方箋を持ち歩く必要がなく、マイナ 保険証で本人確認すれば薬がもらえる仕組みです）